

## 2021年度第5回経営審議会概要

日 時	2021年12月21日（火）13：23～14：02
場 所	本部棟 大会議室
出席者	石川議長（理事長）、香取委員（副理事長）、今委員（理事）、佐藤委員（理事）、小山内委員（理事）、小野委員（理事）、神山委員（理事長指名(学部長)）、伊藤委員（理事長指名(事務局長)）、織田委員（法人の役員又は職員以外の有識者）、長内委員（法人の役員又は職員以外の有識者）

### 【会議概要】

【定足数】	○定款第20条第5項により成立
【審議事項】	
案件①	<p><b>令和4年度当初予算編成方針（案）について</b></p> <p>○事務局（財務情報管理TL）から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認され、理事会に諮ることとなった。</p>
案件②	<p><b>研究職員の採用について</b></p> <p>○香取委員から、教育研究審議会の意見を含め、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認され、理事会に諮ることとなった。</p>
【報告事項】	
案件①	<p><b>令和3年度第1四半期及び第2四半期資金管理実績について</b></p> <p>○事務局（財務情報管理TL）から、当該期間の資金繰りは健全に推移した旨の報告があった。</p>
案件②	<p><b>令和2年度業務実績評価及び第2期中期目標期間業務実績評価における改善事項等の対応状況について</b></p> <p>○事務局（総務企画GL）から、資料に基づき報告があった。</p> <p>○今委員から、大学院志願者の確保に向けた具体的な取組について質問があった。</p> <p>○香取委員から、従来の取組に加えて、令和3年度は、新たに新聞広告掲載の実施（掲載済）や本学型のPBL（Project Based Learning）の検討をしている旨</p>

	<p>の説明があった。</p> <p>○佐藤委員から、以前インターネットの広告欄で本学大学院の情報が掲載されており、PRの取組が目に見えてわかることは良いことであり、引き続き積極的にPR活動をしていくべきである旨の意見があった。</p> <p>○小野委員から、外部資金の確保に向けた取組について、国際芸術センター青森（英訳：Aomori Contemporary Art Centre.以下、「ACAC」と言う。）の事業協力金（寄附金）に取り組んでいることはいいが、ACAC単独での取組には限界があるため、例えば、青森県で取り組んでいる「アートツーリズム（美術館などの展示施設や野外彫刻などの芸術作品を巡ることで地域の文化に触れる観光活動）」に絡めてみてはどうかという意見があった。</p> <p>○香取委員から、ACACのPRとして、そもそもACAC単独の名称で取り上げられることが多く、青森公立大学の付属施設だということも改めてPRしていくべきではないかという意見があった。</p> <p>○石川議長から、2020年度から「青森アートミュージアム5館連携事業（青森県内にある5つの美術館、アートセンターが連携し、青森のアートの魅力を国内外に発信するプロジェクト）」に参画しており、現在も具体的な連携事業については、当該協議会と連携し検討している状況である旨の説明があった。</p>
<p>案件③</p>	<p><b>2022年度入学者選抜実施状況について</b></p> <p>○事務局（教務学事GL）から、資料に基づき報告があった。</p>
<p>案件④</p>	<p><b>2021年度青森公立大学卒業・修了予定者内定状況について</b></p> <p>○事務局（教務学事GL）から、資料に基づき報告があった。</p>
<p>【その他】</p>	<p><b>その他</b></p> <p>○特になし。</p>